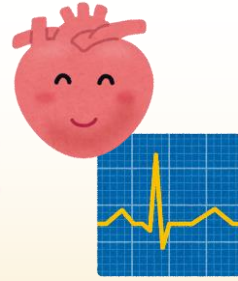


中病棟7階 循環器内科 40床



中病棟7階(循環器内科)

中病棟7階の看護要員

看護要員

- 看護師長1名
- 副看護師長3名
- 看護師33名
- 看護補助者5名
- ナイトアシスタント3名



中病棟7階(循環器内科)

循環器内科の主な疾患

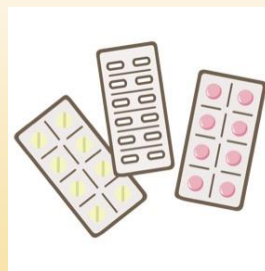
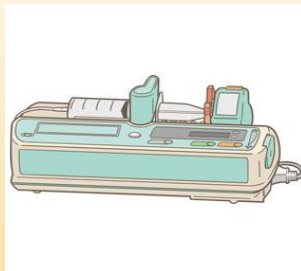
- ・狭心症
- ・心筋梗塞
- ・不整脈
- ・大動脈瘤
- ・大動脈解離
- ・心不全
- ・弁膜症
- ・閉塞性動脈硬化症
- ・肺高血圧症 …etc.



中病棟7階(循環器内科)

循環器内科の治療①

抗不整脈薬や
カテコラミン製剤などの循環作動薬、
抗凝固薬・抗血小板薬がよく用いられます。



微量で作用する薬剤は厳密な管理が求められます。

中病棟7階(循環器内科)

循環器内科の治療②

薬物療法に加え、疾患に応じたカテーテル治療を毎日数多く実施しています。

狭心症・心筋梗塞→血管拡張&ステント留置術

不整脈→アブレーション、ウォッチマン

大動脈瘤・解離→ステントグラフト内挿術

大動脈弁狭窄症→経カテーテル大動脈弁留置術

心房中隔欠損症→アンプラッツァー

閉塞性動脈硬化症→経皮的血管形成術

肺高血圧症→バルーン拡張術

僧帽弁閉鎖不全症→マイトラクリップ術

中病棟7階(循環器内科)

循環器内科の治療③

致死性の不整脈が出ている人や、
心機能が悪化している人に対する
ペースメーカー埋め込み術



種類が増え、小型化も進んでいます

中病棟7階(循環器内科)

24時間心電図を監視しています！

病棟には計40台の心電図モニターがあります。
24時間不整脈がでていないか、
脈拍は安定しているかなどを観察しています。
2時間に1回、心電図に異常がないかチェックしています。



←ほとんどの患者さんは胸に3ヶ所電極を貼り、
この携帯型のモニターを身につけます。

中病棟7階(循環器内科)

急変時の対応も準備しています

循環器疾患をもった患者さんは急変により、
生命維持に関わる状態になることがあります。
そのため、救急カート内の薬剤や蘇生物品、心電図モニター、
除細動器などを日々整備し、すぐに対応できるように
準備しています。

定期的に急変対応のシュミレーションも行っています！



心電図モニター 除細動器 12誘導心電図



救急カート

中病棟7階(循環器内科)

日々の業務の中で
心電図の読解や
急変対応が身に付きます！



中病棟7階(循環器内科)

心臓リハビリ

体力や筋力ではなく、その人の心臓の状態に合わせて負担がかかりすぎないような運動を行っています。入院中だけでなく、外来でも継続してリハビリを行い、生活習慣の指導も行っています。



心臓リハビリテーション室

中病棟7階(循環器内科)

退院支援を積極的に行っています

退院困難な患者さんの療養生活を整える支援を行っています。



退院支援カンファレンスを実施して地域ネットワーク医療部や医師、その他の医療者と連携しています。

退院後も支援や指導を継続するために、病棟と外来との連携を図る方法を検討しています。

中病棟7階(循環器内科)

退院後の指導

心臓リハビリに加え、心臓病疾患は生活習慣との関わりも強いいため、**食事や水分、体重、運動**などについて、一人ひとりの患者さんに合わせて個別で退院指導も行っています。

また、管理栄養士からの栄養指導、薬剤師からの薬剤指導など他職種とも連携し指導を行っています



中病棟7階(循環器内科)



現在力を入れている取り組み

ACP(アドバンス・ケア・プランニング)

命の危険が迫った状態になると、約7割の方が医療・ケアなどを自分で決める・人に望みを伝えることが出来なくなると言われています。

自らが望む最終段階における医療ケアについて、前もって考えてチームで繰り返し話し合い共有する取り組みを「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」といいます。

中病棟7階(循環器内科)

当院でのACP

当病院にはご高齢の方や循環器疾患により、予後の悪い方が入院しています。
ご本人の希望や価値観に沿った終末期の医療が行えるよう、支援を行っています。

～内容～

- ・心不全ステージの説明
- ・終末期や延命治療について
ご本人の価値観の確認



患者さんご本人の考えを聞きながら、患者さん自らの価値観に沿った治療を受けられるよう支援しています。

中病棟7階(循環器内科)

新人職員紹介

- 新人看護師 心臓良子さん
- 入職1年目 中病棟7階 循環器内科 病棟勤務看護師

● 主な仕事内容:

バイタルサインの測定や症状の観察、ケール出棟準備・帰宅後の管理、与薬・点滴管理、患者さんのADLに合わせた生活介助(食事・排泄・移動・清潔の介助など)、病棟でのリハビリ、多職種カンファレンスの実施、プライマリ-患者への退院指導(心不全指導・パ-スメーカー指導・検脈指導・虚血性心疾患指導など)



心臓良子さんのある1日

06:15	● 起床
07:45	● 情報収集
08:15	● 申し送り
	● 病棟勤務(1時間の昼休憩)
17:00	● 退勤
18:00	● 炊事、TV鑑賞
20:00	● 家事、入浴、自己学習
23:00	● 休憩、就寝

仕事をするうえで大切にしていること

患者さんが安全に治療に臨み、無事に退院できるよう日々患者さんの状態をアセスメントし、症状の増悪がないか注意深く観察しています。特に、心不全は心臓だけでなく全身に症状が出現するため、体全体を観察するように心がけています。新人看護師のため、自分で判断が出来ない場合は先輩や医師に相談し、安全に看護実践が出来るようにしています。



1年目看護師からのメッセージ

病棟では、急性期の治療から慢性期の退院支援まで、状態に応じた様々な看護を学ぶことができます。

また、医師や看護師主催の勉強会も開催されています。

入職当初は初めての環境や慣れない業務に不安を感じることも多々ありましたが、その都度先輩方が優しく丁寧にサポートしてくださるので、安心して患者さんと向き合うことができます。

学習環境や教育体制が整っているので、

分からないことも先輩に相談でき、

一つ一つ確認しながら患者さんとかかわっています。

日々の経験から少しずつですが、自分の成長を実感しています。

魅力いっぱいの病棟で一緒に働ける日を楽しみにしています！！

